

お知らせ

平成30年11月22日

同時資料提出先
 島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会
 山口県政滝町記者クラブ・合同庁舎記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

平成30年度「^{ふるさと}手づくり郷土賞」の選定結果について

～ 中国地方で一般部門2件、大賞部門1件が選定されました ～

「^{ふるさと}手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例を広く全国に紹介することで、个性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として実施している国土交通大臣表彰です。

今年度も、全国から多数の応募がよせられ、中国地方からは次のとおり一般部門、大賞部門において下記が選定されましたのでお知らせします。（資料1、資料2）

【中国地方の選定結果】

〈一般部門〉

件名：子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり
 ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～
 受賞団体：特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター

件名：宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり
 ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～
 受賞団体：特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会

〈大賞部門〉

件名：蘇った歴史の道 岩国往来
 受賞団体：岩国往来まちづくり協議会、岩国市

※ 認定証授与式に関する詳細については、後日記者発表を行う予定です。

【全国の選定結果】

◆平成30年度「^{ふるさと}手づくり郷土賞」選定結果

	選定数
一般部門	20選
大賞部門	3選

※全国の選定結果については、国土交通本省において同日付で記者発表をしております。

本省記者発表：http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000204.html

また、選定された活動を広く紹介することにより、各地の活動が拡充されるよう「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ2018～」を12月16日に開催します。（資料3）

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231 (代表) (平日昼間)

担当) 企画部 広域計画課長 ^{やまだ あきら} 山田 明 (内線3211)

企画部 広域計画課長補佐 ^{ひらにし くにひろ} 平西 邦裕 (内線3212) 夜間 511-6132

(広報担当窓口)

中国地方整備局 広報広聴対策官 ^{いわした やすひさ} 岩下 恭久 (内線2117)

中国地方整備局 企画部 環境調整官 ^{いのうえ かずひさ} 井上 和久 (内線3114)

平成30年度 手づくり郷土賞 選定結果

資料1

<一般部門：20件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1		北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～	新川さくら並木連合町内会	—
2	北海道	北海道	旭川市	地域を育てる緑の道 ～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～	緑道ワークス	旭川市
3		北海道	増毛町	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化	特定非営利活動法人 増毛山道の会	—
4		岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ	特定非営利活動法人 北上川サポート協会	—
5	東北	岩手県	陸前高田市	名勝・高田松原の再生をめざして	特定非営利活動法人 高田松原を守る会	岩手県、 陸前高田市
6		山形県	西川町	月山志津温泉雪旅籠の灯り ～雪は宝～	月山志津温泉雪旅籠の灯り実 行委員会	—
7	関東	千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト(文化と芸術の里づくり)	まちづくり桜植樹プロジェクト (桜さんさん会)	—
8	北陸	福島県	<small>会津若松市 喜多方市 会津坂下町 湯川村 会津美里町</small>	会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ	阿賀川・川の達人の会	—
9		岐阜県	飛騨市	レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」 ～自転車とレールで風になる～	特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク	—
10	中部	岐阜県	美濃市	美濃和紙あかりアート展	美濃和紙あかりアート展実行委 員会	—
11	近畿	京都府	福知山市	「雲原砂防イベント」(よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)	「雲原砂防イベント」実行委員会	—
12		京都府	長岡京市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり	特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク	—
13	中国	島根県	出雲市 雲南市 飯南町	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～	特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター	—
14		岡山県	玉野市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～	特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会	—
15	四国	徳島県	三好市	地域の駅から世界の大步危駅へ	JR大步危駅活性化協議会	—
16	九州	大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動 ～植樹交流で下釜ダム湖のある地域を心の故郷へ～	特定非営利活動法人 下釜ダム湖と森の会	日田市、 福岡市
17		大分県	豊後高田市	花とアートの岬「香々地」 ～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～	特定非営利活動法人 長崎鼻B・Kネット	豊後高田市
18		宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～荒れ果てた都市部の里山再生～	大塚台緑地林里山整備実行委 員会	宮崎市
19		宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし ～震災とともに歩む～	川坂川を守る会	宮崎県
20		宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり ～レトロ路面電車でまちをつなぐ～	くしままちづくり協議会	串間市

<大賞部門：3件>

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名 ※()は一般部門等の受賞年度	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	小樽市	小樽雪あかりの路 (平成16年度)	小樽雪あかりの路実行委員会	小樽市
2	中部	三重県	伊勢市	伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり ～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～ (平成22年度)	特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆	—
3	中国	山口県	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往来 (平成23年度)	岩国往来まちづくり協議会	岩国市

〔一般部門〕

(島根県・出雲市、雲南市、飯南町)

子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり
～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～



水生生物調査の様子



調査発表会の様子

＜活動内容＞

子ども達が育った川でのふるさと学習、環境学習を通じて、自然を理解し、環境保全に対する意識向上を図ることを目的とした活動を行うため、平成19年に会を設立。

毎年、河川調査指導者の育成を目的とした指導者研修会(5月)、各学校の調査を6月～10月の期間で行い、調査の成果発表会を11月～12月で行なっている。調査結果は、web-GIS地図で公開することで、多くの県民の関心を高めることが期待でき、データを蓄積することで、基礎データとして利用できる。

＜地域活動団体＞

特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター

(岡山県・玉野市)

宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり
～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～



マルシェイベントの様子



ボランティアスタッフの高校生

＜活動内容＞

かつて「四国への玄関口」として栄えた宇野港の活気を取り戻し、「海と港のまち玉野」として活性化を図るため、平成26年からマルシェイベントを中心に季節ごとに年4、5回のイベント開催を実施している。特に多くの高校生がスタッフとして参画し、若者の感性により工夫を凝らして海と港の魅力を伝えており、開催規模にもよるが、最大で13,000人が訪れるなど直島等のアート鑑賞に訪れる観光客や、地元住民にも徐々に評判が浸透し、港周辺地区の賑わい創出と、新たな地域文化の醸成に大きく寄与している。

＜地域活動団体＞

特定非営利活動法人 UNOICHI 実行委員会

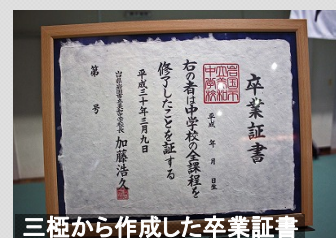
〔大賞部門〕

(山口県・岩国市)

蘇った歴史の道 岩国往来



三椏の苗木を植樹



三椏から作成した卒業証書

＜活動内容＞

岩国往来は約30キロの街道で、近年は人が歩くこともできなかったが、平成18年度より沿道地域住民(岩国往来まちづくり協議会)が岩国往来を調査、復元した。岩国往来の整備により発生した間伐材を活用した、駕籠立場や案内板の設置等。復元した岩国往来を活用し、岩国往来ウォーキング、中学生が飛脚箱をリレーする飛脚リレー等のイベントを実施。近年、三椏の植樹・刈り取り、和紙作成を中学生と協働で実施し、完成された和紙で卒業証書を製作する等、地域活性化に寄与している。

＜地域活動団体＞

岩国往来まちづくり協議会



全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ!

手づくり郷土賞 受賞記念発表会

ふるさと
グランプリ 2018



入場無料

定員 200名

※参加申し込みは裏面を
ご覧ください。

平成30年 12月16日(日) 12:30~16:10

会場

東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場

東京都江東区青海2-2-1

手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出

第33回手づくり郷土賞の受賞者からグランプリを選出します。
地域の自然、歴史、文化を生かした、全国の優れた取組状況を知
ることで、私たちの「郷土(ふるさと)」のあり方や将来を考えてみ
ませんか。

手づくり郷土賞発表会の特徴

選定団体が一堂に会しプレゼンテーション(発表3分、質疑3分)
を行い、その中から、部門別にグランプリを選出します。
また、Facebookでも情報発信します。

<https://www.facebook.com/milt.tedukuri/>



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

全国の地域づくりに
関心のある方へのメッセージ!

ふるさと 手づくり郷土賞 受賞記念発表会

グランプリ 2018

日時 平成30年 12月16日 12:30~16:10



スケジュール

- 開会
- 選定団体によるプレゼンテーション(発表3分/質疑3分)
- グランプリの発表
- 閉会

お申込み方法

下記のサイトより参加申し込みをお願いします。こちらのQRコードからもアクセスできます。▶▶▶

<https://www.vmi.co.jp/jpn/consulting/seminar/2018/furusato2018.html>



なお、国土交通省の記者発表資料をご覧になりたい方は右記サイトをご覧ください。https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000204.html

お申込み締切

平成30年12月10日(月)17時
定員/200名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館 プラザ平成
3階 国際交流会議場
所在地/〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
アクセス/ゆりかもめ「船の科学館」東出口 徒歩約3分
りんかい線「東京テレポート」B出口 徒歩約15分

お問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
メール: tedukuri@mlit.go.jp FAX:03-5253-1551

※送信するメールの件名は、
「手づくり郷土賞受賞記念発表会 2018 の問合せ」としてください。



手づくり郷土(ふるさと)賞については、情報発信を行っています。是非ご覧ください。

手づくり郷土賞ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/index.html>
これまでの受賞団体の成果をご覧いただけます。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)